

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社  
 コード番号 3390 URL <http://www.u-s-systems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊奈 聡

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 森 雄一郎

TEL 03-6892-3864

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,002	27.3	164	△14.7	147	△22.7	264	59.0
26年3月期第2四半期	1,573	62.6	193	—	190	—	166	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 266百万円 (49.9%) 26年3月期第2四半期 177百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.59	—
26年3月期第2四半期	3.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	2,315	886	37.6	17.94
26年3月期	1,981	330	13.7	5.89

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 871百万円 26年3月期 270百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期の配当につきましては、未定であります。配当については、決定次第速やかにお知らせいたします。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	29.7	400	32.0	390	25.4	240	△27.3	4.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社ベストリザーブ

(注) 当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。  
 詳細は、[添付資料]P. 4「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	48,591,907 株	26年3月期	45,983,200 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	47,294,681 株	26年3月期2Q	45,983,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### <業績の状況>

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）における我が国経済は、雇用情勢や所得環境に改善等が見られる一方、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や、新興国経済の低迷といった景気の下振れリスクが存在することから、個人消費や企業収益面でやや足踏みが見られる状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境では、スマートフォン・タブレット端末の急速な普及拡大が進み、9月末にはスマートフォン契約件数がフィーチャーフォン契約数を上回りました。また、今までIT投資が少なかった中堅・中小企業でも、スマートデバイスを活用することによって、大企業と同等の情報システムを利用することが可能になるなど、個人・法人ともにモバイルの情報通信端末の活用はますます広がっている中で、情報通信事業者による新サービスの提供開始や、仮想移動体通信事業者（MVNO）の参入など、市場環境はさらに活発になっていくことが期待されています。

このような事業環境のもと、当社グループは、業績の回復を実現した前連結会計年度からのさらなる収益力向上を目指し、既存事業の強化に努めてまいりました。飲食事業者向けのシステム事業では、中小型店向けのASPサービスや、スマートフォン・タブレット端末を利用したPOSシステムの販売を中心にお客様のニーズにお応えする総合的なソリューション提案を行ってまいりました。また、セルフオーダーシステムを全国の大手飲食チェーンやカラオケ店などに提供しているアスカティースリー株式会社を子会社化し、当社の飲食事業者向けのソリューションサービスの収益力強化を図ってまいりました。

さらに、スマートフォンを中心とした携帯電話等の販売を行う直販事業につきましては、販売体制の強化等に取り組んだ結果、販売数が堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,002百万円（前年同期比27.3%増）となり、営業利益164百万円（前年同期比14.7%減）、経常利益147百万円（前年同期比22.7%減）となりましたが、特別利益として子会社株式売却益150百万円を計上したこと等により、四半期純利益264百万円（前年同期比59.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①システム事業

システム事業セグメントは、飲食事業者向けのASPサービスや、スマートフォン・タブレット端末を利用したPOSシステムの販売を中心に、店舗運営をサポートするソリューション提案を行っております。飲食店向けに販売情報を収集して分析するPOS・オーダーエントリーシステム「ダイニングPOS」並びに「ダイニングレジスター」等の販売を展開してまいりました。

また、前連結会計年度には大手飲食事業者向けASP事業の譲渡をいたしましたが、一方で、当事業の収益力強化のため、セルフオーダーシステムを全国の大手飲食チェーンやカラオケ店などに提供しているアスカティースリー株式会社を子会社化し、飲食事業者向けのソリューションサービスの拡充を行うなど、積極的な投資を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は354百万円（前年同期比42.6%減）、セグメント損失は17百万円（前年同期はセグメント利益151百万円）となりました。

#### ②メディア事業

メディア事業セグメントは、連結子会社の株式会社ベストリザーブにて、ホテル業界に特化した予約サイトの運営や広告サービスを行ってまいりましたが、当第2四半期連結会計期間において、同社株式の一部を第三者に譲渡したことにより、連結の範囲から除外し、持分法適用関連会社の範囲に含めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は102百万円（前年同期比69.3%減）、セグメント損失は0百万円（前年同期はセグメント利益40百万円）となりました。

#### ③直販事業

直販事業セグメントは、主にスマートフォンを中心とした携帯電話端末や周辺機器、モバイルデータ通信端末の販売を行っております。消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や、事業者間競争がますます激しさを増している状況下において、販売体制の強化等に取り組んだことにより、販売数が堅調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,545百万円（前年同期比146.2%増）、セグメント利益は239百万円（前年同期比209.1%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①総資産、負債及び純資産

	前連結会計年度末	当第2四半期連結会計期間末	増減
	百万円	百万円	百万円
総資産	1,981	2,315	333
負債	1,651	1,428	△222
純資産	330	886	556

総資産は、主にのれんの増加により、前連結会計年度末に比べて333百万円増加し、2,315百万円となりました。

負債は、主に未払金の減少により、前連結会計年度末に比べて222百万円減少し、1,428百万円となりました。

純資産は、主に株式交換の実施に伴い資本剰余金が増加したこと、四半期純利益を計上したことにより、前連結会計年度末に比べて556百万円増加し、886百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額213百万円を含め、以下に記載のキャッシュ・フローにより635百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円増加いたしました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は67百万円（前年同期は203百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益298百万円、売上債権の減少414百万円、仕入債務の減少242百万円、未払金の減少229百万円によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は117百万円（前年同期は15百万円の減少）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入97百万円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は226百万円（前年同期は143百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出178百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する情報

平成27年度3月期の通期業績予想については、平成26年5月16日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、株式交換により完全子会社化したアスカティースリー株式会社を連結の範囲に加えております。

また、株式を一部売却したことにより、株式会社ベストリザーブを連結の範囲から除外し持分法適用の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	463	635
売掛金	1,088	689
たな卸資産	11	138
その他	178	80
貸倒引当金	△8	△5
流動資産合計	1,734	1,539
固定資産		
有形固定資産	57	155
無形固定資産		
のれん	60	377
ソフトウェア	14	82
その他	1	2
無形固定資産合計	76	462
投資その他の資産		
投資有価証券	9	51
その他	127	130
貸倒引当金	△23	△22
投資その他の資産合計	113	158
固定資産合計	247	776
資産合計	1,981	2,315
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	448	254
短期借入金	-	25
1年内返済予定の長期借入金	78	262
未払金	663	346
未払法人税等	58	39
賞与引当金	66	8
役員賞与引当金	17	5
ポイント引当金	5	-
その他	71	186
流動負債合計	1,408	1,126
固定負債		
長期借入金	239	207
その他	2	94
固定負債合計	242	301
負債合計	1,651	1,428
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,454	1,454
資本剰余金	1,973	2,310
利益剰余金	△3,157	△2,893
株主資本合計	270	871
少数株主持分	59	15
純資産合計	330	886
負債純資産合計	1,981	2,315

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	1,573	2,002
売上原価	778	1,073
売上総利益	794	929
販売費及び一般管理費	601	764
営業利益	193	164
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	5	2
その他	1	0
営業外収益合計	6	3
営業外費用		
支払利息	8	9
持分法による投資損失	—	10
その他	0	0
営業外費用合計	9	20
経常利益	190	147
特別利益		
子会社株式売却益	—	150
投資有価証券売却益	6	—
負ののれん発生益	3	—
特別利益合計	9	150
特別損失		
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	199	298
法人税、住民税及び事業税	21	31
法人税等合計	21	31
少数株主損益調整前四半期純利益	177	266
少数株主利益	11	2
四半期純利益	166	264

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	177	266
四半期包括利益	177	266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166	264
少数株主に係る四半期包括利益	11	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	199	298
減価償却費	17	34
のれん償却額	10	25
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	△59
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△12
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	8	9
持分法による投資損益 (△は益)	△0	10
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△150
売上債権の増減額 (△は増加)	△28	414
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1	△9
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11	△242
未払金の増減額 (△は減少)	△17	△229
その他	39	40
小計	220	127
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△7	△9
法人税等の支払額	△10	△50
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	203	67
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15	△26
無形固定資産の取得による支出	△8	△21
投資有価証券の売却及び償還による収入	38	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△49	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	50	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	97
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△8
子会社株式の取得による支出	△18	—
過年度子会社株式売却代金の回収	—	76
その他	△14	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15	117
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△30
長期借入れによる収入	233	—
長期借入金の返済による支出	△90	△178
リース債務の返済による支出	—	△21
その他	—	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	143	△226
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	331	△41
現金及び現金同等物の期首残高	72	463
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	213
現金及び現金同等物の四半期末残高	404	635

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	メディア 事業	直販 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	611	334	627	1,573	—	1,573
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6	0	0	6	△6	—
計	618	334	627	1,580	△6	1,573
セグメント利益	151	40	77	269	△76	193

(注) 1 セグメント利益の調整額△76百万円は、セグメント間取引消去△0百万円、各セグメントに配分していない全社費用△76百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	メディア 事業	直販 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	354	102	1,545	2,002	-	2,002
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	0	0	0	△0	-
計	354	102	1,545	2,002	△0	2,002
セグメント利益 又は損失 (△)	△17	△0	239	222	△57	164

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△57百万円は、各セグメントに配分していない全社費用△57百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間にアスカティースリー株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、システム事業において、904百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間にアスカティースリー株式会社を完全子会社化したことにより、システム事業において、のれんが362百万円発生しております。